

2024 年度 大阪医科薬科大学

HOME ナース支援プログラム

ー訪問看護基礎コースー

募集要項



学校法人 大阪医科薬科大学
看護キャリアサポートセンター

もくじ

1.	ねらい	1
2.	研修目的	1
3.	研修目標	1
4.	研修期間とプログラム	1
	1) 研修期間	1
	2) プログラム概要	1
	3) 学習目標と内容	2
	講義	2
	演習	2
	実習	3
	4) 訪問の種類と定義	4
5.	修了について	4
6.	募集について	4
	1) 募集人員	4
	2) 応募資格	4
	3) 提出書類	5
	4) 募集期間	5
	5) 受講決定について	5
7.	受講に必要な費用	5
	問い合わせ先	5

1. ねらい

超高齢社会及びポストコロナのニューノーマル社会に対応できる訪問看護師「通称 HOME ナース」を養成する。HOME ナースとは、以下の能力を有する。

H : Health management and Hospitality （予防から看取りまで幅広く対応できる）

O : Operation skill （基本技術やアセスメントが熟達している）

M : Multi human communication （利用者・家族・多職種との連携・協働ができる）

E : Environmental care （利用者の生活環境に配慮できる）

2. 研修目的

訪問看護師「通称 HOME ナース」として、入院から在宅療養まで継続性のある看護ケアを実践するために必要な知識、技術、態度を習得し、訪問看護師として創造的に活動しうる能力を身につける。

3. 研修目標

- 1) 訪問看護に必要な知識、技術、態度を習得できる。
- 2) 訪問看護師の役割、機能について理解できる。
- 3) 地域における多職種連携、地域包括ケアシステムについて理解できる。
- 4) あらゆる発達段階、健康段階にある患者とその家族を対象に、必要な医療処置及び看護ケアが提供できる。

4. 研修期間とプログラム

1) 研修期間

2024 年 7 月 4 日（木）～2024 年 9 月 24 日（月）

※実習期間以外は原則、週 1 日（半日）とする。

2) プログラム概要

講義	8 時間	訪問看護の目的と機能、基本姿勢、訪問看護のしくみなど トピックス講演「訪問看護の価値を伝える」
演習	12 時間	訪問看護における基本技術、事例分析と訪問看護計画立案
実習	70 時間	同行訪問及び伴走型訪問、計画立案・実施・評価、事例発表

※ただし、1 時間（1 コマ＝1 回）は 50 分とする。

3) 学習目標と内容

【講義】

回	学習目標	学習内容
1	地域包括ケアシステムにおける在宅看護の必要性を理解し、在宅看護の目的・機能、基本理念について理解する。	・在宅ケアを必要とする社会背景 ・地域包括ケアシステム ・在宅看護の定義と目的・機能 ・在宅看護の基本理念
2	在宅療養者と家族の特徴とニーズを理解する。	・在宅看護の対象 ・対象の特徴とニーズ
3 4	訪問看護に関する法律と制度、しくみについて理解する。	・訪問看護の目的・機能・特徴 ・訪問看護に関する制度 ・医療保険による訪問看護 ・介護保険による訪問看護
5	ケアマネジメントの必要性和看護職の役割を理解する。	・ケアマネジメントの定義と目的 ・ケアマネジメントの展開 ・チームケアと多職種連携
6	訪問看護における安全危機管理について理解する。	・訪問看護でのアクシデントの特徴 ・訪問看護でのリスクマネジメントの実際 ・医療事故の予防および災害時の対応等
7	訪問看護における感染管理について理解する。	・COVID-19 とそれに伴う感染管理，対応
8	訪問看護の実際を通して，看護職に求められる知識，技術，態度について考察する。	・トピックス講演 訪問看護の価値を伝える ～訪問看護師の立場から～ ～利用者・家族の立場から～

【演習】

回数	学習目標	学習内容
1	訪問看護の場と活動の特徴をふまえた生活支援，医療管理のあり方について理解する。	・生活ケアの目的と意義 ・生活ケアのポイント ・医療的ケアの目的と意義 ・医療的ケアのポイント ・在宅特有の看護過程

2	在宅における家族支援について理解する.	・家族看護の視点とアプローチ
3 4	フィジカルアセスメントの方法を理解する.	・フィジカルアセスメント ・事例分析（臨床推論と判断）
5 6	訪問看護の場で遭遇する全身の皮膚状態のアセスメントと援助方法を理解する.	・皮膚のアセスメント ・トラブルと予防, 対処方法 ・褥瘡ケア ・腎瘻 ・ストーマ
7 8	在宅における排泄管理と援助方法を理解する.	・在宅での清潔援助方法 ・補助用具の種類と選択方法 以下の項目に関する適応, トラブルと予防, 対処方法 ・排泄機能のアセスメント ・膀胱留置カテーテル ・在宅での排便コントロール
9 10	在宅における呼吸管理と援助方法を理解する.	以下の項目に関する適応, トラブルと予防, 対処方法 ・呼吸・循環器系のアセスメント ・呼吸理学療法
11 12	在宅における看取りの現状とエンド・オブ・ライフケアについて理解する.	・エンド・オブ・ライフのアプローチ（アドバンス・ケア・プランニング, グリーフケア） ・エンド・オブ・ライフを支える在宅ケアシステム

【実習】

日数	学習目標	学習内容
1 2	訪問看護の場とその特徴を理解する.	・同行訪問
3 4 5	在宅療養者と家族を理解し, 健康課題と看護目標を提示することができる.	・同行訪問 ・情報収集とアセスメント ・健康課題と看護目標の提示

6 7 8 9	在宅療養者と家族の QOL 維持・向上をめざした看護をスタッフとともに実践できる.	・ 伴走型訪問 ・ 計画・実践・評価 ・ 計画に沿った看護の実践 ・ 多職種との連携
10	実習を振り返り看護実践の意味づけを行う.	・ 事例発表

※ 講義・演習は、2024 年 7 月 4 日（木）から開始予定.

※ 実習は、2024 年 9 月 9 日（月）～24 日（月）の実施予定.

7 月 9 日（月）～20 日（金）は 8:30～16:40, 24 日（月）は 9:30～12:00.

※ 実習受講日数については個別対応可能（1,000 円/日）.

4) 訪問の種類と定義

(1) 同行訪問

訪問看護ステーションの看護師の訪問看護の見学と、一部の看護技術を担い実践し、必要時サポートを受ける実習の訪問形態をいう.

(2) 伴走型訪問

訪問看護ステーションの看護師に訪問同行してもらうが、受講者が訪問の準備から実践、記録に至る一連の訪問看護を、必要時サポートを受けながら基本的に単独で行う実習の訪問形態をいう.

5. 修了について

以下、①～③すべてを満たした者に対し、修了証を授与します.

① 所定のプログラムを履修している（出席が 3 分の 2 以上、欠席時のレポートあり）

② 各科目の評価が 60 点以上である

6. 募集について

1) 募集人員

10 名（最少催行人数 2 名）

2) 応募資格

以下のいずれかに該当する方とします.

・ 病院等で勤務し、訪問看護に関心を持っている看護師

- ・訪問看護師として初めて勤務されている方

3) 提出書類

①履歴書

②看護師免許証の写し

※ 履歴書はダウンロードしてご記入の上，看護師免許証の写しと一緒に郵送してください。

※ お送りいただいた応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

※ 実習には勤務先の許可が必要となりますので，手続きに関しては別途ご案内いたします。

4) 募集期間

2024 年 5 月 22 日（水）～6 月 20 日（木） 当日消印有効

5) 受講決定について

- ・書類受付後，受講の可否通知をご連絡いたします。
- ・応募資格を満たしていない場合は，受講できません。
- ・電話によるお問い合わせには対応しかねます。

7. 受講に必要な費用

講義・演習：10,000 円

実習：10,000 円

通学や実習先までの交通費、当研修に必要な保険等に関しては自己負担となります。

原則として一旦納入された受講費用は返還いたしません。

書類提出先・問い合わせ先

〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2 番 7 号

大阪医科薬科大学 看護キャリアサポートセンター

※封筒表面に「訪問看護師養成実践コース研修 受講手続き書類在中」と
朱書きのうえ送付ください

Mail : k-career@ompu.ac.jp